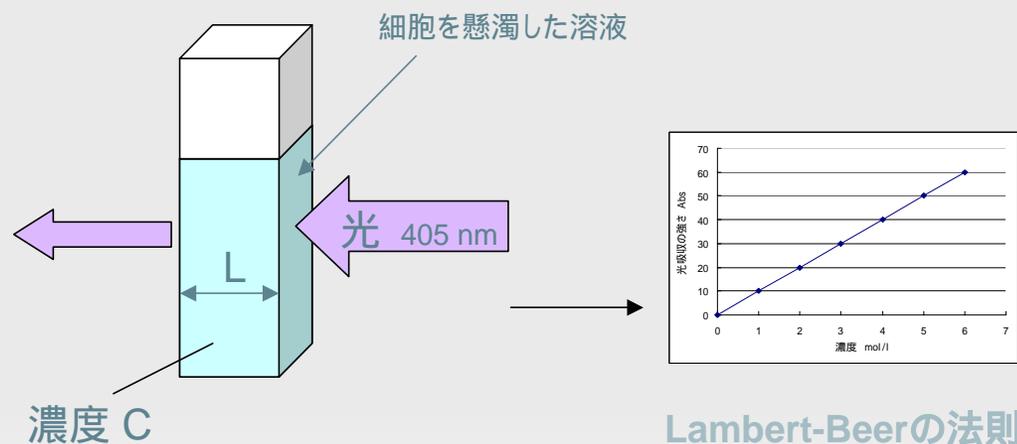


# 紫外可視分光光度計

骨芽細胞が骨へと変化していく過程(分化)で、アルカリフォスターゼ (ALP)という酵素に特異的に反応する時期があります。

この反応の度合を調べることで分化の進行度を知ることができます。



Lambert-Beerの法則  
 $E=KCL$

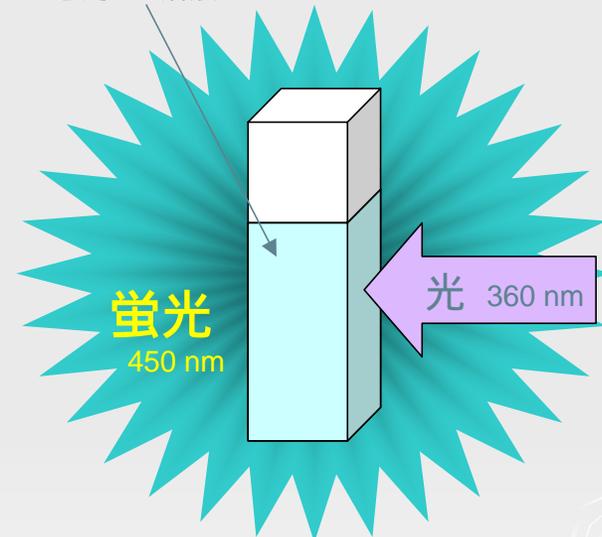
E: 吸光度 (光吸収の強さ)  
K: 吸光係数

吸光度から試料中の  
ALP濃度を決定します

# 分光蛍光光度計

細胞中のDNA濃度を  
決定するために用います

細胞を発光剤で染色したものを  
懸濁した溶液



蛍光の強さから試料中の  
DNA濃度を決定します